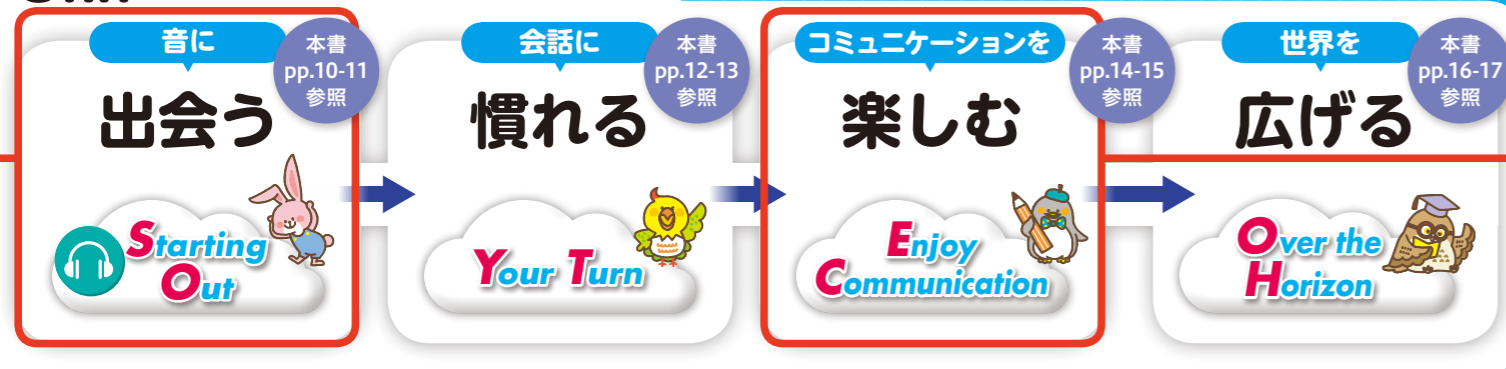


たくさんの発見をしながら、外国語の見方・考え方を働かせる

各学年8つのUnitと3つのCheck Your Steps

Unit → 基本的な単語や表現を学びます。



Check Your Steps
→ Unitをまとめます。
学びを **確かめる**

本書 pp.18-19 参照

QRコードで楽しく学ぼう！
このQRコードから、左の指導の流れについての映像をご覧いただけます。

2年間を通して、6つのテーマが設定されています。(本書 pp.24-25)



「学びたい！」をはぐくむ構成

使用場面重視の、通しのストーリーで学習の流れを創る

シンガポールからの転校生エミリー・スミスのお話

- 日本の公立小学校で学び、さまざまな人と出会いながら成長していくエミリーの2年間を通して、グローバル社会の「生活の中で英語を使う」イメージと「人と人とのつながり」の大切さを伝えます。
- 英語を使う必然性のある場面を設定しています。何度も繰り返し見たり聞いたりすることで、児童のリアルなコミュニケーション活動のモデルになります。
- 短く易しい対話から成る本文には、異文化情報や日本の知られざる魅力を発見できるストーリーがあります。
- 文字を介さず、音と場面だけを頼りに、楽しくストーリーを追える「絵本」です。音声には内容の推測を促す効果音を多用しています。



推測
おおよその状況をつかむ

英語を使う日常生活の場面を提示します。

※指導者用デジタルブック（→投げ込みデジタル資料）p.2の「困り感ショートコント」もご活用ください。

Starting Outの場面・話題

- | 5年 | 5年 |
|-----------------|---------------------|
| 1 初授業 | 1 名刺交換 |
| 2 家庭で | 2 パースデーカード作り |
| 3 校外学習 | 3 夢に近づく時間割紹介 |
| | Enjoy Communication |
| | ✓ 外国の人に自己紹介 |
| | Check Your Steps |
| 4 町探検 | 4 身近な人紹介 |
| 5 道案内 | 5 町紹介 |
| 6 注文・買い物 | 6 ふるさとメニュー紹介 |
| | ✓ 地域のおすすめ紹介 |
| 7 お正月 | 7 日本の四季ポストカード作り |
| 8 あこがれの人 | 8 ヒーロー紹介カード作り |
| | ✓ 日本のすてき紹介 |
| 6年 | 6年 |
| 1 自己紹介 | 1 プロフィールカード作り |
| 2 宝物 | 2 宝物紹介 |
| 3 行ってみたい国 | 3 旅先案内 |
| | ✓ 外国の人にメッセージ |
| 4 夏休みの思い出 | 4 夏休み記録メモ作り |
| 5 食物連鎖 | 5 フードチェーンカード作り |
| 6 食料産地・栄養 | 6 オリジナルカレーメモ作り |
| | ✓ 世界と自分のつながりを発見 |
| 7 小学校生活の思い出 | 7 アルバムシート作り |
| 8 中学校進学に向けて、夢宣言 | 8 夢宣言カード作り |
| | ✓ 卒業の寄せ書きのメッセージ |

めざした22の姿を見取りながら、英語でコミュニケーションしたい児童の夢を叶える

16のUnitと6つのCheck Your Stepsのゴール

- 5・6年の2年間を通して、学んだ結果、何ができるようになるのかを、教科書紙面のイラストとQRコードの学び方動画を使って明示します。
- 同じ教室で学び合う子供たちと指導者全員が、ビジュアル面からゴールの姿をイメージとして共有することにより、効率的でスムーズにコミュニケーション活動を行うことができます。
- ※『Let's Try!』や『We Can!』の「Activity」を、めざすゴールの姿としてより明確にしました。
- 左記のStarting Outのストーリーで学んだ場面と話題が、そのまま児童の活動メニューにつながるように教科書を編集しています。



選択
自分のことばを選ぶ

教科書の世界を飛び出して、教室でリアルに英語を使う児童のモデルです。



考え方 音と映像で重要表現に「出会う」

3・4年の外国語活動で慣れ親しんだ表現を繰り返し登場させ、それらをふり取りながら英語の音に触れる「導入」パートです。児童の身近な話題を題材としたストーリーをスクリプトとして用意し（→本書p.8）、学習への関心・意欲を高めます。

●育成したい主な力 (pp.10-11の例)

5 領域	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
	◎		○		
	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	○				○

●評価のめやす

- ✓ 学校生活における転校生との日常会話や自己紹介を聞いている。
- ✓ おおよその内容を推測しながら聞こうとしている。

扱い方

- Our Goal でUnitの目標をクラス全員で確かめましょう。毎時の目標は指導書に載せています。
- Let's Sing を「今月の歌」として毎時流せば、そのUnitのテーマを意識した授業づくりに活用できます。
- Let's Chant には、そのUnitの重要表現が繰り返し現れます。Unitを通して毎時活用しましょう。
- Starting Out のストーリーもUnitを通して繰り返し聞きましょう。
- Small Talk と Let's Watch and Think には、児童の発達段階と指導者の負担に配慮した、学びやすく教えやすいデジタルコンテンツを指導書にご用意しています。

別冊 Picture Dictionary の使い方

Let's Try ① で、脚注 Word Linkの参照ページを開き、その時間で重要なジャンルの語彙について、ポインティングゲームなどをして慣れ親しみます。指導書やデジタル教材には、選べるゲームのバリエーションをご用意しています。

この段階で全て理解できる必要はありません。場面や状況などから、おおよその内容を推測して聞くように促しましょう。



Point! 1

「学びたい!」をはぐくむ構成

1時間目の授業の流れ

ALT はALTとのチームティーチングを推奨する活動です。ここ以外での活動でも適宜評価を行います。

導入

- Let's Sing (5分)
- Let's Chant (5分)
- Small Talk (5分) ALT
- Let's Try ① (10分) ALT
- Starting Out (10分) ②
- Sounds and Letters (5分)

中心となる活動

文字指導

Unit 1 Hello, friends.

Our Goal 名前や好きなもの・ことを伝えよう。

Starting Out 英語を聞いて、場面の順に□に番号を書こう。

Let's Sing Nice to meet you.

Let's Chant ① How do you spell your name? ② What sport do you like?

Let's Try ① ワードゲームをしよう。

Let's Watch and Think 次の小学生について分かったことを空欄に書こう。

Small Talk SATOSH! What is your name?

Word Link Picture Dictionaryを見て!

Sounds and Letters 大文字を眺もう pp.86-87 大文字を眺もう pp.86-87

2時間目の授業の流れ

導入

- Let's Sing (3分)
- Let's Chant (7分)
- Let's Try ① (5分) ①
- Starting Out (10分) ②
- Let's Watch and Think (10分) ③
- Sounds and Letters (5分)

中心となる活動

文字指導

紙面を上中下段に三分割。上段と下段は短時間学習でも使うことができ、中段の45分授業と密接に関連しています。



考え方 ペア・ワーク、グループ・ワークで重要表現に「慣れる」

Starting Outに出てきた音声を繰り返し聞いて、児童自身のことばとして少しずつ発話できるようになるための活動をご用意しています。先生や友達とのやり取りを通して繰り返し聞いたり言ったりして、語や表現が自然に身につく練習パートです。

●育成したい主な力 (pp.12-13の例)

5領域	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
	○		◎		
	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	◎		○		

●評価のめやす

- ✓ 繰り返し聞いてきた語や表現の意味が分かる。
- ✓ 学習した語や表現を使って簡単なやり取りができる。

扱い方

- メインキャラクターの吹き出しのセリフが、各時のターゲットとなる表現です。Starting Out から本Unitの最重要ターゲットが抜き出されたものです。Starting Out のストーリーをふり返りとして活用しながら、「聞く」と「話す」をつなぎましょう。
- Starting Out のOur Goalで、Unit通しの全体の目標を再度クラス全員で確かめましょう。
- Sounds and Lettersでは、毎時指導書付属の音声を流します。児童は教科書巻末のノートに少しずつ書き込むだけで、指導者が負担なく指導できるようになっています。

別冊 Picture Dictionary の使い方

3時間目は「好きな色」、4時間目では「好きな食べ物」が話題となります。② Let's Try ② や ④ Let's Try ③ で脚注Word Linkの参照ページを開いて、そのジャンルの重要語をメトロラーニング(→投げ込み デジタル資料 p.2)で練習します。

このパートでは、英語の知識・技能の習得をめざしています。児童の様子を見ながら、時間を多めにしてもよいでしょう。

Point! 2

「学びたい!」をはぐくむ構成

3時間目の授業の流れ

導入

- Let's Sing (3分)
- Let's Chant (7分)
- Small Talk (5分) ALT

中心となる活動

- Let's Listen ① (10分) ①
- Let's Try ② (10分) ALT ②

文字指導

- Sounds and Letters (5分)

巻末ノート

1 Your Turn 名前をつづりや好きなもの・ことをたずね合おう。

1 Let's Listen ① 登場人物の好きさらいを聞いて、線で結ぼう。

2 Let's Try ② 色、スポーツ、食べ物について、それぞれ何が好きかをたずね合い、表に書こう。

Small Talk ② What sport do you like?

Word Link Picture Dictionaryを見てね!

3 Let's Listen ② 聞こえた名前をメモして、○で囲もう。

4 Let's Try ③ 自分の好きな色と食べ物について、に巻末絵カードを書きながら考えよう。

How do you spell your name?
S-A-K-U-R-A. Sakura

Sounds and Letters ④

4時間目の授業の流れ

導入

- Let's Sing (3分)
- Let's Chant (7分)

中心となる活動

- Let's Listen ② (10分) ③
- Let's Try ③ (15分) ALT ④

文字指導

- Sounds and Letters (5分)

巻末ノート



考え方 巻末コミュニケーションカードで、思いを「かたち」にして「楽しむ」

Starting OutやYour Turnで学習してきた語や表現を使う活動で、このUnitで身につけた力を見取る「まとめ」のパートです。あいさつしたり相づちを打ったりするなど、英語を使ったコミュニケーションのしかたも重要です。

●育成したい主な力 (pp.14-15の例)

5領域	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
			◎		○
	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
			◎	○	

●評価のめやす

- ✓ 他者に配慮しながら自分の名前や好きなもの・ことを伝えることができる。
- ✓ 相手の発言を理解したうえで、適切にたずねたり答えたりすることができる。

扱い方

- Starting Outに戻って Our Goal, Let's Sing, Let's Chant でUnit全体をふり返る時間を大切にしましょう。
- 巻末コミュニケーションカードとして、巻末に厚手の用紙で準備されている名刺カードをミシン目に沿って切り取り、自分の名前のつづりと好きなもの・ことの絵を児童が描きます。
- 活動を終えた名刺カードは「テーマ別まとめ」のページ(→本書pp.18-19)に貼って、学びのポートフォリオとして評価に生かします。
- 3のイラストがこのUnit全体でめざす姿です。

別冊 Picture Dictionary の使い方

5時間目の①や②で、名刺カードに文字や絵をかくときの手本を見つけることができるので、全ての児童が何らかの形で取り組むためのヒントになります。また6時間目で、足りない語や表現を児童どうしで助け合いながら補うときにも活用できます。

ここが単元のゴールです。単元の目標(Our Goal)をしっかり確認して見取りましょう。

英語力だけでなく、相手意識や伝える工夫が大切です。



Point! 3

「学びたい!」をはぐくむ構成

5時間目の授業の流れ

導入

- Let's Sing (2分)
- Let's Chant (3分)
- Small Talk (5分) ALT

中心となる活動

- Step 1 (10分) ①
名刺カードに名前を書き、ペアで名前のつづりをたずね合う。
- Step 2 (15分) ALT ②
名刺カードに好きなものの絵を描き、ペアでたずね合う。

文字指導

- Sounds and Letters (5分)

準備するもの

名刺カード ▶ 巻末コミュニケーションカード

1 Step 1

自分の名前をカードに書いて、ペアでつづりをたずねあおう。

How do you spell your name?

E-M-I-L-Y. Emily.

2 Step 2

好きなもの・ことの絵をかいたら、ペアでたずねあおう。

What sport do you like?

I like soccer.

3 Step 3

友達と、名前や好きなもの・ことについてやり取りをしながら、名刺交換をしよう。

1 名前を言ってあいさつをしよう。

2 名前のつづりを伝えあおう。

3 好きなもの・ことを伝えあおう。

4 名刺交換をしよう。

Nice to meet you. Nice to meet you, too.

Tips

使い終わった「名刺カード」はp.34にはろう。

はじめて会う人にはNice to meet you.と言いましよう。

6時間目の授業の流れ

導入

- Let's Sing (2分)
- Let's Chant (3分)
- Step 3 (30分) ALT ③
自己紹介をしながら名刺交換をする。

中心となる活動

ここで評価!

文字指導

- Sounds and Letters (5分)



考え方

異文化情報に触れて
世界を「広げる」

直前の3見開きに関連する外国の文化などを学べるコーナーです。世界の国々を身近に感じることで、英語という言語の重要性や日本の良さに気づきを与え、実生活や実社会に生きて働く力となることをめざします。さらに、中学校に向けて学び続ける心を育てます。言語の背景にある文化に気づき、より深い学びに向かうための資料ページです。

扱い方

●このページで発見したり疑問に思ったりして心を動かした体験をもとに、Over the Horizon（水平線を越えて）の文字通り、世界とつながってキャリア教育に広げましょう。

●Starting OutのOur Goal, Let's Sing, Let's Chantをふり返りましょう。

Do you know?

●Starting OutのLet's Watch and Thinkに強く結びつけて、他教科との関連でより深く広く学べる資料です。豆知識が得られるクイズもあります。Challengeでは英語を使う活動があります。

(例) 世界の九九(5年p.33), 世界の標識・ピクトグラム(5年pp.52-53), 世界遺産(6年p.28), 世界の食料事情(6年p.59)ほか

ことば探検

●日本語との比較を通して、同じ言語教科である国語と相乗的に理解を深めるためのコーナーです。指導書や準拠教材にはデジタルコンテンツやワークシートもご用意します。
(例) ローマ字と英語(5年p.24), 外来語(5年p.60), 文のリズム(6年p.70)ほか

日本のすてき

●「日本のすてき」(5年)では、案内役の「まり姫」が、日本文化に魅了されて日本で働く外国人たちを、まとまりのあるインタビューで紹介し、キャリア教育を重視しています。
(例) ぶどう農家(ソイル・アリ/トルコ, 5年p.33), 落語家(ダイアン吉日/イギリス, 5年p.81)
●「世界のすてき」(6年)では、案内役の「ジョン万太郎」が、世界各国で町の住人から旅人として情報を集める場面などを紹介します。
(例) 中国(6年p.13), 韓国(6年p.21), ガーナ(6年p.71), サウジアラビア(6年p.79)ほか

学んだ英語をもとに、他教科の知識と融合を図りながら視野を広げます。自習用にして単元の時間調整に使用することもできます。



Point! 4

「学びたい!」をはぐくむ構成

7時間目の授業の流れ

7時間目の授業の流れ

- 導入: Let's Sing (2分), Let's Chant (3分), Small Talk (5分) ALT
- 中心となる活動: Do you know? (10分) ①, Challenge! (15分) ALT ②
- 文字指導: Sounds and Letters (5分)

7時間目の授業内容

- 1 Do you know? 世界にはどんな姓名があるのかな。
- 2 Challenge! わたしの名前 自己紹介のとき、姓と名を言えるかな。 English: I'm Taiyo. My family name is Suzuki.
- 3 ことば探検 自分のことを何と言う? わたし → I, ぼく → I, うち → I
- 4 日本のすてき 北海道地方編 インタビューを聞こう。

8時間目の授業の流れ

8時間目の授業の流れ

- 導入: Let's Sing (2分), Let's Chant (3分)
- 中心となる活動: ことば探検 (15分) ③, 日本のすてき (15分) ALT ④
- 文字指導: Sounds and Letters (5分)

考え方 テーマ別（年3回）で学びを「ふり返り」、伝える力を「確かめる」

これまでの複数の単元で学んだ英語を使って発表を行います。単元末の成果物（巻末コミュニケーションカード）をふり返りながら、テーマに沿ったスピーチを作り、発表します。発表を受けて、聞き取ったりやり取りしたりする力も見取れます。

●育成したい主な力（pp.34-35の例）

5 領域	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
	○	○	○	◎	○
	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	◎		◎	◎	

●評価のめやす

- ✓ 同じテーマで学んだ複数の単元の話題や表現を組み合わせて、自分の思いをより工夫して伝えている。
- ✓ 発達段階に応じ、次の学びにつながる深い思考力、判断力、表現力が身についている。

扱い方

- Starting OutのストーリーやLet's Chantなどを活用して使える表現をふり返ってから活動しましょう。
- ALTと協力してパフォーマンステストを実施することもできます。

さらに、国際交流プロジェクトとして、完成した児童の作品を使って、NPO団体の協力を得ながら、地域・社会との連携を図ることもできます。



別冊 Picture Dictionary の使い方

② STEPでスピーチ原稿を作成する際の参考となる文例が別冊pp.38-41「あなただけの表現を見つけよう(1)(2)」に載っています。伝えたい内容にあわせて文例とジャンル別の語から選んで組み合わせたりすれば、児童はスピーチ原稿を作れます。またイラストは作品を作るときの素材集として、4線上の文字は書き写すときの手本として活用できます。

身についた力を総合的に見取るための重要なページと位置づけています。地域の活動に展開もできます。

Point! 5

「学びたい!」をはぐくむ構成

1時間目 の授業の流れ

導入

Let's Chant (10分)
表現のふり返り
(該当のもの全て)

HOP (10分) ALT ①

これまでの学習を別冊Picture Dictionaryなどでふり返って、できることを確認し、伝えたいことを選ぶ。

STEP (15分) ALT ②

自己紹介の構成を考え、スピーチ原稿を作成する。次時に向けて、自己紹介の練習をする。

ここで評価!

ふり返りシート (5分)

中心となる活動

まとめ

Check Your Steps 1 外国人に自己紹介をしよう

Unit 1 名刺カード ▶ p.14

Unit 2 パステードカード ▶ p.22

Unit 3 夢に近づく時間割 ▶ p.30

スピーチに挑戦!

初めて会う外国人に自己紹介をしよう

HOP 自己紹介で伝えたいこと(好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日など)を選ぼう。

STEP 枠の中に伝えたいことを入れて自己紹介スピーチを考えよう。パネルも作ろう。

JUMP 相手に伝えるように上手にしながら(声・表情・スピードなど)スピーチをしよう。

1 HIROMI

2

3

4

はじめのあいさつをしよう。(Hello.)
名前やつづりを言おう。(I am)
自己紹介で伝えたいことを言おう。

ふり返ろう!
スピーチの原稿は合いくつ?
相手に伝える工夫は合いくつ?

おわりのあいさつをしよう。(Nice to meet you.)

2時間目 の授業の流れ

導入

Let's Chant (5分)
表現のふり返り
(該当のもの全て)

JUMP (25分) ALT ③

自己紹介のスピーチをする。聞いているクラスとのやり取りも行う。

(スピーチの例)
Hello. I'm Ken.
K-E-N, Ken.
I like baseball.
I play the piano.
I want to be a singer.
Thank you.

(やり取りの例)
Class: Do you like baseball?
Ken: Yes, I do

ここで評価!

ふり返り (10分) ④

教科書のp.35の2つのポイントからふり返る。
・スピーチの内容は☆いくつ?
・相手に伝える工夫は☆いくつ?

中心となる活動

まとめ

年間を通して「目標」と「評価」を一体化する指導の流れ

板書例付き指導案
もあります。

学びやすさ・教えやすさを追求！ 「指導者の負担」に配慮した年間指導計画の考え方

- Unit はどれも4見開きから成る8時間扱い、Check Your Stepsは2時間扱いです。
- Unitは各学年8つ、Check Your Stepsは各学年3つあり、8Unit×8時間で、64時間、3 Check Your Steps×2時間で6時間。合計で年間70時間の指導時数になります。
- 「1か月に1Unit+年3回のCheck Your Steps」を進度のめやすに、確実に指導を進められます。
- 5領域アイコン [聞く👂、話す(やり取り)🗣️、話す(発表)🗨️、読む📖、書く📝、統合🔗] で、どの技能を重点的に学ぶのが明確です。指示文も文字情報として具体的に印字されるので、児童にも指導者にも何をやるべきかがはっきりし、授業がスムーズに流れます。

「自分」
自分のことを
紹介しよう
Unit 1~3

Unit 1・2・3の目標: 自分のことを紹介しよう

Unit 1の目標 **Our Goal** 名前や好きなもの・ことを伝えよう。

出会う **Starting Out**



2時間扱い (本書pp.10-11参照)

慣れる **Your Turn**



2時間扱い (本書pp.12-13参照)

楽しむ **Enjoy Communication**

Unit 1のゴール



2時間扱い (本書pp.14-15参照)

※Enjoy Communicationの扱い方によって、Over the Horizonの時数を少なくできます。

[資料] 広げる **Over the Horizon**



2時間扱い (本書pp.16-17参照)

このUnitの目標に対応して
評価する児童の姿

Unit 2, Unit 3の目標に沿って
ゴール達成

確かめる **Check Your Steps**
年間のゴール

さらに、いくつかのUnitのテーマが
まとまる場所で、そのテーマ(こ
こでは、「自分のことを紹介しよう」)
の目標に対応して評価する児童の姿

2時間扱い (本書pp.18-19参照)

1. 日々の授業

紙面には書き込みスペースがゆったり取られており、児童の取り組みが教科書に残ります。学習がある程度まとまったところで適宜回収してそのまま評価の素材にできるので、指導者の働き方改革に対応しつつ、正確な評価を実現します。

児童の発言や指導書に入っているふり返しシート・ワークシートの内容を通して、英語力だけでなく、言語活動に取り組む意欲や、単元のはじめと終わりの変化、授業で得られたことばへの気づきなど、さまざまなポイントを見ることもできます。

2. 各単元のまとめ

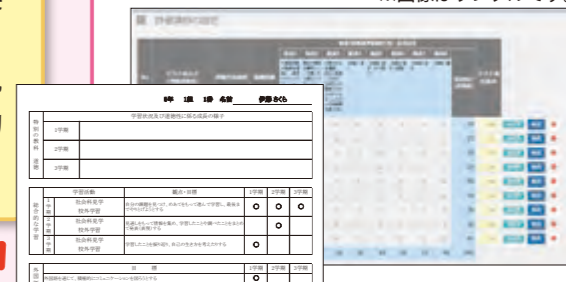
全Unitの3つめの見開きのEnjoy Communicationでは、直前の2つの見開きであるStarting OutとYour Turnで学んだ英語を使いながら、巻末コミュニケーションカードを作り、クラスの友達とやり取りしたり、発表したりします。このときの児童のパフォーマンスを学びの成果として見取ることで、総括的評価の第一ステップを踏めると考えています。

通知表へ

指導書に評価システムを
搭載! (→本書pp.30-31)

教科書に沿って評価を行い、その結果を適宜入力すれば、通知表の評価評定を計算することができます。

※画像はサンプルです。



3. 各テーマのまとめ(年3回)

「『評価』は『目標』に照らして、一度で終わりではなく、常に次につなげるものである」という考え方を重視しています。

Enjoy Communicationで行ったコミュニケーション活動をふり返しなが、児童が自ら英語を選んだり、組み合わせたりして思いを伝えようとする姿を評価します。

最も高いレベルのコミュニケーション力を測るため、総括的評価においてはより大きな比重が置かれます。

そして、小学校英語での
学びが、全て別冊
Picture Dictionaryに
まとまります。



「学びたい!」をはぐくむ構成